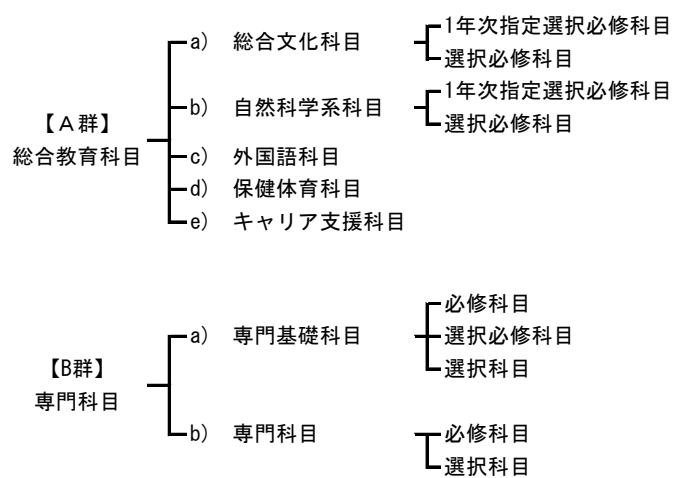


◀2020 年度入学生用▶

## 建築学部

# 授業科目履修課程表

### ◆教育課程◆



## 建築学部で何を学ぶか

建築学部は、学生諸君が人間と社会、科学技術を多様な視点から捉える目を養うために、工学をはじめとして、人文科学、社会科学や芸術などの幅広い学問分野の基礎教育と充実した教養教育を実施している。そして、実践的かつ総合的な教育により、学生それぞれの個性を重視して専門的な能力を引き出し、伸ばすことで、建築と都市環境の創造・再生、および、持続型社会を支える科学技術の発展を中核的に担う専門家を養成する。建築学部は、そのための素養を十分に身につける教育プログラムを準備している。

また、新たに形成されつつある建築関連の諸分野に対し、学生が今後求められる専門家となるためには、現実の建築に関係する現象を正しく認識する観察力や分析力が必要不可欠となる。そのため、建築学部は、学生が実験・実習・演習などによる課題解決の経験を通じ、これらの素養を十分に養えるよう図っている。さらに、実社会における建築の設計者や技術者としての役割を体感させることを重視し、学生にインターンシップによるものづくりの現場への参加機会や、実社会で活躍している講師による特別講義の受講機会などを設けている。学生は、それにより、広範な知識を身につけ、社会において果たすべき建築の専門家としての役割を理解することができるようになるだろう。

建築学部は、まちづくり学科、建築学科、建築デザイン学科による3学科体制により運営されている。

まちづくり学科では、地球規模の大きな社会状況の変化のもとで、これから我々がより快適に住み続けられるための「まち」の新しい姿について学生自身が考え、身近な「まち」に関わる様々な視点（つくり手・住まい手の両方からの視点）を獲得する。多角的な「まち」の将来像を構想し、実現する素養を身につけて、持続型社会を支える科学技術の発展に寄与する方法を修得する。

建築学科では、安全で快適な生活の場の構築を目的として、大量生産・大量消費時代の新規供給中心の建築ではなく、安全で環境負荷の少ない生活環境を実現する建築の考え方を教育の中心に据えている。学生は、これからの新しい建築のあり方を規定する高度な要素技術（計画、構造、設備、生産）を身につけ、持続型社会を支える科学技術の発展に寄与する方法を修得する。

建築デザイン学科では、単に美しいだけではなく、機能的に優れ、快適で使いやすい、人間のための建築デザインについて学生自身が考え、新しいデザインのあり方を創造・発信することを目指す。さらに、環境への配慮や人間の生活の質（Quality of Life）の向上を考慮した建築の設計・提案を行う能力を身につけて、持続型社会を支える科学技術の発展に寄与する方法を修得する。

このように、学生が、まちづくり学科、建築学科、建築デザイン学科のいずれかの就学経験を通じて、卒業後に、新時代の課題を適切に判断し、身につけた専門知識・技術を生かす指導的な役割（コーディネーターやマネジメントなどの役割）を担う仕事に就くことを、建築学部は目指している。活躍する分野としては、建築の基本分野となる建築設計、建築施工全般などに加えて、資源や環境の保全、持続可能なまちづくりや都市再生、防災、高齢社会に対応した生活環境づくりなど、いわゆる工学分野の建築学には含まれてこなかった幅広い専門分野を想定している。

さらに、本学大学院進学により、多様な研究分野が同じ学部の中に共存するメリットを最大限に活かしながら、学生自身が複合的な新しい着想に基づく研究領域の創造を積極的に進めることを期待している。こうして、学生は新しい得意分野の位置づけを確立しながら、専門性を高めることを目指せるだろう。

《2020年度入学生用》

## 建築学部

# 各 学 科 共 通

【A群】	
総合教育科目	a) 総合文化科目
	b) 自然科学系科目
	c) 外国語科目
	d) 保健体育科目
	e) キャリア支援科目

### 【A群】総合教育科目

#### a) 総合文化科目

本学は工科大であるが、工学も、すべての学問と同じく、それだけで独立したものではなく、他のさまざまな学問や、歴史や社会との複雑な関連の中ではじめて成り立っている。とりわけ今日では、科学技術や産業のあり方について、さまざまな角度からの再検討、再評価がおこなわれ、全人類的な視野に立つ新しい展望の開拓が期待されている。したがって大学に学ぶ者は、狭義の専門分野だけでなく、できるだけ多くの学問分野に触れることが望まれる。幅広い知識、多様な関心、柔軟な感性こそが、専門領域での真に創造的な仕事や、現実社会での的確な判断力、責任ある態度を生み出すのである。

総合文化科目は、このような意味で専門教育を根底から支え、研究者として、技術者として、社会人として、豊かな可能性と創造性をもつ人間の形成に役立つことを目指して開設される。まず1年次の「建築ロジカルライティングⅠ」「建築ロジカルライティングⅡ」「総合文化アカデミックスキル」では、大学生としての主体的な学びを実践するために必要不可欠な力を身につけ、将来を見据えつつ自らのアイデンティティの確立を図る。また、「美術A」「美術B」では、建築を学ぶために必要なデッサン力、イメージ表現力を理論と実技の両面から身につける。さらに2年次以降、いわゆる人文科学、社会科学を中心として、広大な「知」の世界の入口として集められた科目群から、自らの意志で科目を選択し、学びを深めてゆく。

#### b) 自然科学系科目

現代の科学技術は、自然科学の大きな体系の上に成立している。科学技術の深い内容を理解するためには、自然科学との関係を十分に知ることが重要であり、その自然科学の基礎について勉強する。基礎・教養科の教員が責任を持って教育にあたる。

講義科目の「微分積分」、「物理」、「化学」、「生物」は、どの分野に進む人にも重要な基礎知識であり、これらについて広い視野を持つことは、各人が独自の道を切り開く上で大きな力になる。単に道具として理解するのではなく、自然現象をどのように捉え、表現しようとしているのか、また結果としてどんな描像を得ているかを理解する姿勢が重要である。

また、現代を生き抜く上で不可欠なコンピュータの基礎について学ぶ「情報処理入門」、「建築情報処理基礎」を修

得し、さらに専門的な知識を身につけて欲しい。

#### c) 外国語科目

建築学部では、国際化時代に対応し、幅のあるコミュニケーション技能を養うために、体系的かつ柔軟性を持たせた外国語教育のカリキュラムを編成している。

具体的には、卒業に必要な外国語科目8単位のうち6単位を必修の英語科目で取得し、残り2単位は選択必修の外国語科目から取得する。

必修の英語科目は、総合的な力を養うべく、言語諸技能の有機的な教育を目指す。それぞれ次のように重点を置いている。つまり、「Basic English I/II」では、英語でたくさんのinputを得る活動(listening・reading)に重点をおき、コミュニケーションの基礎となる語彙・文法・構文の修得を目指す。「Basic Communication I/II」は、英語のoutputの活動(プレゼンテーションやレポート作成等)を通して、総合的に英語コミュニケーション能力を伸ばすことを目標としている。「Basic Academic English I/II」では、さらに総合的英語コミュニケーション能力の育成を目指し、英語による受信型・発信型双方のコミュニケーションスキルを養う。

選択必修科目に「応用英語」に当たる「Intensive English Course(夏期または春期語学研修)」等を設置し、学生の積極的履修を求めている。即戦力となる英語コミュニケーションスキルをつけたい人は、新宿校舎で開講する「Presentation in English」, 「Writing in English」, 「Communication in English」などの科目に挑戦してもらいたい。また第二外国語として、「ドイツ語」・「フランス語」・「中国語」・「中国語集中講座」・「ロシア語」と、日本語を母国語としない学生のための「日本語」を設置している。

情報化時代の中で、外国語運用能力の重要性はますます高まっている。積極的な語学学習の場として欲しい。

#### d) 保健体育科目

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催が迫り、世代や人種を超えた交流や地域社会の活性化など、スポーツの持つ多くの潜在的な力に注目が集まっている。身体を動かすことは、健全な発育や心身の健康の保持増進に必要不可欠である。しかし近年は、社会環境の変化によって身体活動の機会が失われている。これからは、自らの生活に主体的に運動やスポーツを取り入れる能力を身につける必要がある。

定期的な運動は、生活習慣病や筋肉、骨、関節等の運動器の障害を予防し、ストレスの軽減をもたらす。また、自己の内面を観察し、心身のバランスを整える能力を高める。さらに、運動を通して個における忍耐力や諦めない心、グループにおける協調性や優しさを学ぶことにより、コミュニケーション能力を高め、活力あふれる社会人になることが期待できる。

そして、楽しく安全にスポーツを行う基本的知識(ウォームアップ、クールダウン、水分補給等)や健康管理(栄養、睡眠、飲酒等)について理解することは、これから始まる大学生活を有意義に送るための基盤となる。さらにスポーツや武道を、身体運動文化として学ぶことで、海外の人々とスポーツを通じたコミュニケーションが可能となる。

以上の意義において、保健体育科目を設置する。(詳細は「保健体育科目履修の手引」を参照)

#### e) キャリア支援科目

大学で学んだことを社会で活かすためには、在学中から将来を見据え、自分自身の資質・能力を向上させることが大切である。2年次後期に受講する「キャリアデザイン」は、企業講演等を通して自らの職業観を醸成させると共に、社会と接する際に必要となる自己表現力等の能力を身につけることを目標としている。また、この科目は3年次開講科目の「学外研修」(インターンシップ)の導入科目としても位置づけられている。

建築学部 総合教育科目

・○印は必修科目、△印は選択必修科目、□印は必修履修科目、無印は選択科目

・「教職」欄に●印または▲印が付してある科目は、教員免許取得に必要な科目を示す。備考も参照すること。

1) 総合文化科目 (A群a)

授業科目	単位数および標準履修学年					授業形態	教職	学位授与の方針				備考	
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	計			1	2	3	4		
	△ 建築ロジカルライティングI	2						2	講義		10		0
△ 建築ロジカルライティングII		2			2	講義		10	0	50	40		
△ 総合文化アカデミックスキル		2または2			2	講義		20	0	60	20		
△ 哲学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 哲学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 倫理学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 倫理学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 宗教学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 宗教学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 心理学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 心理学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 教育学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 教育学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 歴史学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 歴史学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 法学A (日本国憲法1単位を含む)			2	2	2	2	講義	▲	50	0	0	50	
△ 法学B (日本国憲法1単位を含む)			2	2	2	2	講義	▲	50	0	0	50	
△ 政治学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 政治学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 経済学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 経済学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 環境経済学			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 経営学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 経営学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 社会学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 社会学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 社会思想A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 社会思想B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 国際関係論A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 国際関係論B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 文学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 文学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 美術A	2		2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 美術B		2	2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 芸術学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 芸術学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 論理学A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 論理学B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 現代文化論A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 現代文化論B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 科学論A			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 科学論B			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 身体健康学			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ スポーツ科学			2	2	2	2	講義		50	0	0	50	
△ 日本国憲法			2または2	2または2	2または2	2	講義	▲	40	0	0	60	

2) 自然科学系科目 (A群b)

授業科目	単位数および標準履修学年					授業形態	教職	学位授与の方針				備考
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	計			1	2	3	4	
	△ 基礎数学	2						2	講義		100	
△ 微分積分I		2または2			2	講義	●数学	100	0	0	0	
△ 微分積分II		2または2			2	講義	●数学	100	0	0	0	
△ 物理学概論A		2			2	講義		100	0	0	0	
△ 物理学概論B		2または2			2	講義		100	0	0	0	
△ 現代の物理学				2または2	2	講義		100	0	0	0	
△ 化学概論		2			2	講義		100	0	0	0	
△ 化学研究法		2または2			2	講義		100	0	0	0	
△ 現代の化学				2	2	講義		100	0	0	0	
△ 情報処理入門	2				2	講義	●	100	0	0	0	
△ 建築情報処理基礎			2		2	講義	●数学	80	0	20	0	
△ 生物学概論		2または2			2	講義		100	0	0	0	

建築学部 総合教育科目

・○印は必修科目、△印は選択必修科目、□印は必修科目、無印は選択科目

・「教職」欄に●印または▲印が付してある科目は、教員免許状取得に必要な科目を示す。備考も参照すること。

3) 外国語科目 (A群c)

授 業 科 目	単位数および標準履修学年						授業形態	教職	学位授与の方針				備 考			
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	計				1	2	3	4				
【A群】 c) 外 国 語 科 目	必修英語	○ Basic English I	1					1	演習	●	40	0	60	0		
		○ Basic English II		1					1	演習	●	40	0	60	0	
		○ Basic Communication I	1						1	演習	●	30	0	70	0	
		○ Basic Communication II		1					1	演習	●	30	0	70	0	
		○ Basic Academic English I			1				1	演習	●	30	0	70	0	
		○ Basic Academic English II				1			1	演習	●	30	0	70	0	
	応 用 英 語	△ Intensive English Course	2	2	2	2	2	2	演習			40	0	60	0	夏期集中または春期集中
		△ Presentation in English Basic I				1		1	1	演習		20	0	80	0	
		△ Presentation in English Basic II					1		1	1	演習	20	0	80	0	
		△ Presentation in English Advanced I				1		1	1	演習	20	0	80	0		
		△ Presentation in English Advanced II					1		1	1	演習	20	0	80	0	
		△ Writing in English Basic I	1	1	1	1	1	1	1	演習		30	0	70	0	
		△ Writing in English Basic II		1		1		1	1	1	演習	30	0	70	0	
		△ Writing in English Advanced I				1		1	1	1	演習	20	0	80	0	
		△ Writing in English Advanced II					1		1	1	演習	20	0	80	0	
		△ Communication in English Basic I				1		1	1	1	演習	20	0	80	0	
		△ Communication in English Basic II					1		1	1	演習	20	0	80	0	
		△ Communication in English Advanced I				1		1	1	1	演習	20	0	80	0	
		△ Communication in English Advanced II					1		1	1	演習	20	0	80	0	
		第 二 外 国 語	△ ドイツ語初級I	1または1	1または1	1または1	1または1	1	1	1	演習		60	0	0	40
	△ ドイツ語初級II		1または1	1または1	1または1	1または1	1	1	1	演習		60	0	0	40	
	△ ドイツ語中級A			1		1		1	1	演習		60	0	0	40	
	△ ドイツ語中級B				1		1		1	1	演習	60	0	0	40	
	△ フランス語初級I		1または1	1または1	1または1	1または1	1	1	1	演習		60	0	0	40	
	△ フランス語初級II		1または1	1または1	1または1	1または1	1	1	1	演習		60	0	0	40	
	△ 中国語初級I		1または1	1または1	1または1	1または1	1	1	1	演習		60	0	0	40	
	△ 中国語初級II		1または1	1または1	1または1	1または1	1	1	1	演習		60	0	0	40	
△ 中国語中級A			1		1		1	1	演習		60	0	0	40		
△ 中国語中級B				1		1		1	1	演習	60	0	0	40		
△ 中国語集中講座A	1		1	1	1	1	1	1	演習		40	0	60	0	夏期集中または春期集中	
△ 中国語集中講座B	1		1	1	1	1	1	1	演習		40	0	60	0	夏期集中または春期集中	
△ ロシア語初級I	1または1		1または1	1または1	1または1	1	1	1	演習		60	0	0	40		
△ ロシア語初級II	1または1		1または1	1または1	1または1	1	1	1	演習		60	0	0	40		
△ 日本語中級I	1							1	演習		40	0	60	0		
△ 日本語中級II			1					1	演習		40	0	60	0		

建築学部 総合教育科目

・○印は必修科目、△印は選択必修科目、□印は必修科目、無印は選択科目

・「教職」欄に●印または▲印が付してある科目は、教員免許状取得に必要な科目を示す。備考も参照すること。

4) 保健体育科目 (A群d)

授 業 科 目			単位数および標準履修学年					授業形態	教職	学位授与の方針				備 考
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	計			1	2	3	4	
【A群】	総合教育 科目 保健体育	d) ○ 身体・運動科学演習Ⅰ	1				1	演習	●	20	0	10	70	
		○ 身体・運動科学演習Ⅱ		1			1	演習	●	20	0	10	70	
		生涯スポーツA		1または1	1または1	1または1	1	演習		10	0	10	80	
		生涯スポーツB		1または1	1または1	1または1	1	演習		10	0	10	80	
		生涯スポーツC			1または1	1または1	1	演習		10	0	10	80	

5) キャリア支援科目 (A群e)

授 業 科 目			単位数および標準履修学年					授業形態	教職	学位授与の方針				備 考
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	計			1	2	3	4	
【A群】	総合教育 科目 キャリア支援科目	e) キャリアデザイン		2			2	講義		10	0	50	40	
		日本経済分析入門			2または2	2または2	2	講義		40	0	0	60	
		事業運営の基礎知識			2または2	2または2	2	講義		40	0	0	60	
		中国の社会と文化			2または2	2または2	2	講義		40	0	0	60	
		教育者のための遊びの指導法			2または2	2または2	2	講義		40	0	60	0	
		インターンシップA	1	1			1	実習		0	0	20	80	集中
		インターンシップB	2	2			2	実習		0	0	20	80	集中
医薬工協働(PBL)			2		2	講義		0	50	50	0	集中		